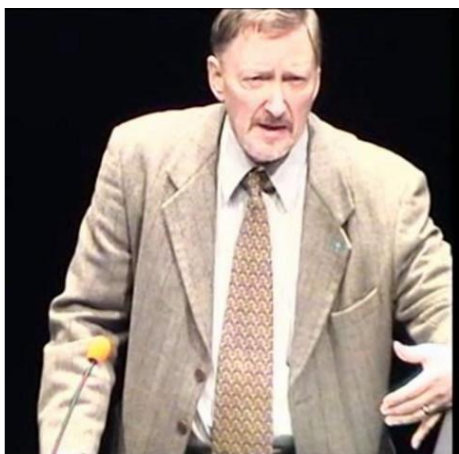


大阪大学大学院人間科学研究科 公開講義のご案内

「福祉国家の民主化におけるサード・セクターの役割」

The roles of the third sector in democratizing the welfare state

(言語：英語 通訳あり)



ヴィクトール A. ペストフ(Victor.A.Pestoff)教授の招へいにあたり…

ペストフ氏はストックホルム大学等を経て、現在はエーシタシュンダール大学市民社会研究所の客員教授として、今なお、社会的企業(social enterprise)に関する研究において世界的に注目されています。同氏によるサードセクターの分析モデル「福祉トライアングルモデル」(Welfare Triangle)は、日本のサードセクター研究、NPO 研究、社会福祉研究の論文で数多く引用されています。ペストフ氏は、利用者参加のもとで共同生産される (co-production) 介護、医療サービスに可能性を見出し、本研究科の研究者や院生らと、日本の農協、生協による医療介護について共同研究を行っています。普遍主義型福祉国家スウェーデンで、なぜサードセクターに注目するのか。サクセスフルエイジングを支援する介護福祉サービスにおいて、サードセクターにはどのような役割が期待されるのか。ペストフ氏からの問題提起を受け、考えます。著書の中で、Beyond the Market and State: Civil democracy and social enterprises in a welfare society (1998)は藤田暁男他編『福祉社会と市民民主主義、協同組合と社会的企業の役割』(日本経済評論社、2000年)に翻訳されています。

V.A.ペストフ教授 (スウェーデン エーシタ・シュンダール大学)

日時：2014年5月24日(土) 13:30-16:30

(講義、質疑応答を含む)

場所：大阪大学中之島センター301 講義室

定員：75名 参加費：無料 ※要申し込み。申し込み先は下記をご参照ください。

主催：大阪大学大学院人間科学研究科 齊藤弥生研究室

共催：大阪大学大学院人間科学研究科

※本公開講義は、「平成26年度大阪大学国際共同研究促進プログラム」による「超高齢期高齢者のサクセスフルエイジングを支援する介護福祉サービスの開発に向けた認知脳科学的・老年社会学的研究」

(代表：苧阪満里子・大阪大学大学院人間科学研究科教授)により開催します。

申し込み・問い合わせ先：大阪大学大学院人間科学研究科社会環境学講座 福祉社会論研究室 (担当：佐藤)

Email: momochoro0710@gmail.com Tel: 06-6879-4051 (火・水のみ)

お名前、ご所属、連絡先(メールアドレス)をご記載ください。 **申し込み締め切り：5月22日(木)**